

スライド丁番のご使用に当たっては、「側板に対する扉のかぶせ代」や「(両開き扉や連続扉の場合の)扉と扉との隙間寸法」をどうとるかが大変重要になります。その点を誤ってご使用になった場合、扉の開閉の際に扉が側板や他の扉にぶつかるなどして、扉の損傷や丁番の故障につながります。

スライド丁番の特性を十分に理解され上手にご利用していただくために、製品紹介ページ中にある資料の見方および設計に当たってのチェックポイントなどについてご説明いたします。

設計ガイド (家具設計のためのスライド丁番選択のチェックポイント)

1 「扉厚」および「扉のかぶせ代」を設定してください。

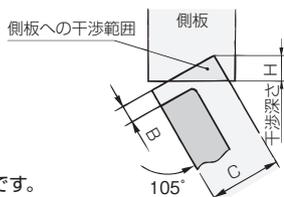
2 1で設定した条件で、扉の吊元側コーナーが側板木口に当たることなく、最大開き角度まで開くか否かを、製品紹介ページの「はみ出し寸法表」で確認。

はみだし寸法表

濃グレー部であれば、YESを進んでください。

薄グレー部であれば、NOの対策を行ってください。

※製品紹介ページでは、濃グレーはグレー、薄グレーは水色です。



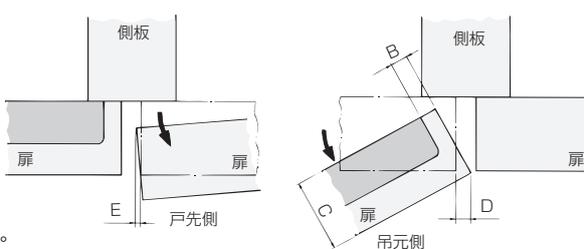
YES

NO

扉の吊元側コーナーをR加工もしくはC面加工してください。または側板木口と扉との隙間をHより広くとってください。

3 隣接する家具や扉がある場合、開ける方の扉のコーナーがそれらに当たらないかを確認。

当たらない場合、YESを進んでください。当たる場合、NOの対策を行ってください。



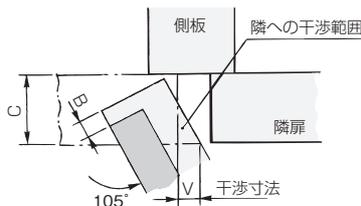
YES

NO

扉の吊元側コーナーの加工をしてDを減少させてください。

4 隣接する家具や扉がある場合、それらのコーナーに開けた扉の表面が当たらないかを確認。

当たらない場合、YESを進んでください。当たる場合、NOの対策を行ってください。



YES

NO

隣扉のコーナーを加工または隣扉との隙間をVより広くとってください。

5 上記の項目を満たした上でスライド丁番をご使用ください。

例：C105°の場合(73ページ)

■はみ出し寸法表

A全かぶせ	17	18	19	20	
A 4-14かぶせ	13	14	15	16	
A 半かぶせ	8	9	10	11	
C扉厚	B	3	4	5	6
14	1.0	1.0	0.9	0.9	
15	1.2	1.2	1.2	1.1	
16	1.5	1.4	1.4	1.4	
17	1.8	1.7	1.7	1.7	
18	2.1	2.1	2.0	2.0	
19	2.5	2.4	2.4	2.3	
20	2.8	2.8	2.7	2.7	
21	3.3	3.2	3.1	3.0	
22	3.7	3.6	3.6	3.4	
23	4.2	4.1	4.0	3.9	
24	4.7	4.6	4.5	4.4	
25	5.3	5.1	5.0	4.8	
26	5.9	5.8	5.6	5.5	
27	6.6	6.4	6.1	5.9	
28	7.3	7.0	6.8	6.5	

濃グレー 範囲内=(最大開き角度まで)開く

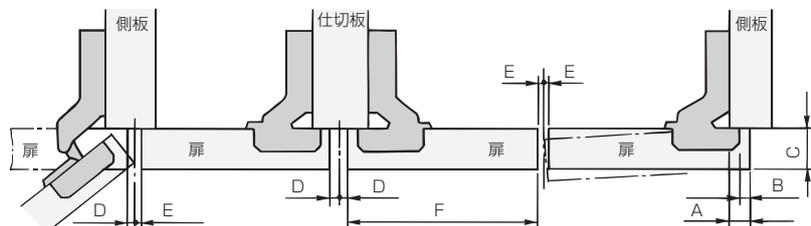
薄グレー 範囲内=(最大開き角度まで)開かない

●NOの場合の対策方法の詳細は次ページ以降をご参照ください。

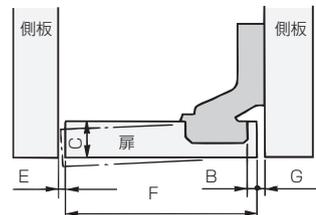
家具設計に必要なスライド丁番の各データは、各製品紹介ページに掲載されています。

A=扉のかぶせ代・B=扉端より掘込までの距離・C=扉厚・D=丁番側はみ出し寸法・E=扉先端部のはみ出し寸法・F=扉幅

かぶせタイプ



インセットタイプ



ドア錠 1
丁番 2
スライド丁番 3
開き戸金具 4
引戸錠 5
引戸金具 6
上吊式引戸金具 7
移動間仕切金具 8
折戸金具 9
室内用アルミ建具 10
取手・引手 11
スライドワイヤーバスケット 12
収納・吊金具 13
その他の家具金物 14
物干金具・語金具 15
真鍮アンティーク 16
設計施工ガイド
会社案内